

ろう教育科学会第66回大会の開催について(お知らせ)

ろう教育科学会 理事長 廣瀬 宜礼
第66回大会実行委員長 沼田 潤

1. 大会の概要・案内

- (1) 会 期:2024年8月24日(土)
- (2) 会 場:大阪府社会福社会館
〒542-0012 大阪府大阪市中央区谷町7丁目4-15
(地下鉄谷町線・長堀鶴見緑地線「谷町六丁目」駅/地下鉄谷町線・千日前線「谷町九丁目」駅)
- (3) 主 催:ろう教育科学会
- (4) 後 援:大阪府教育委員会(申請予定)、大阪市教育委員会(申請予定)
- (5) 日 程

9:30 9:50 10:00 11:40 12:40 13:00 13:40 14:00 16:30 17:30

受付	開会 行事	研究発表①	昼食	総会	研究発表②	休 憩	講演	閉会 行事	懇親会
----	----------	-------	----	----	-------	--------	----	----------	-----

2. 大会テーマ

「ニーズの多様性から専門性を考える」

テーマ設定理由:

昨年度の第65回大会では「聴覚障害児教育は持続可能か」をテーマに、研究発表とシンポジウムを行いました。短期間での人事異動を背景にした専門性の低下をどう考えるのか。学校現場の取り組み、大学での教員養成での取り組みをもとに活発な議論がなされました。さらに、今後の聴覚障害児教育に必要となる視点として、聴覚障害があり、かつ外国にルーツをもつ子どもたちへの教育と支援をどうするべきかについても問題提起があり、インターセクショナリティ概念とともに議論しました。現状のままの聴覚障害児教育では持続可能とは言えないという危機意識が共有され、持続可能となるための教員の意識の変化、さらには、学校システムや教育システムそのものの変化も必要になることが分かってきました。

今年度は、「持続可能」というキーワードを引き継ぎながら焦点をろう重複に当てます。聴覚支援学校におけるろう重複児の在籍率は増加し続けており、その教育と支援についても重要性は増えています。インクルーシブ教育の潮流の中、ろう重複児が地域で学ぶ事例も増えると予想されます。しかし、この分野の知見は効果的に蓄積されてきたでしょうか。場合によっては、学校の各担当者単位で完結し、他の教員や新転任者などに共有されることなく、埋もれてしまうことがあったのではないのでしょうか。また、「ろう重複」の観点は、聴覚障害と重度知的障害の重複だけでなく発達障害との重複を含めた議論を可能にします。発達の多様性は聴覚障害児にも当てはまるものであり、ニーズの多様化はさらに進んでいます。第66回大会では、広い意味でのろう重複を軸にしながら、聴覚障害児教育を将来に渡って発展、持続させるためには何が必要なのかについて考えてみたいと思います。

3. 講演(1日目午後)

「ろう重複障害教育における“コミュニケーション”の専門性」

講師:松崎 丈先生 (宮城教育大学 教授)

【講師紹介】

宮城教育大学教授であり、宮城教育大学特別支援教育専攻長、しょうがい学生支援室副室長もつとめられています。勤務大学では手話と文字のみで講義や校内業務をすすめておられる、ろう当事者の先生です。長年、「コミュニケーション」の視点からろう、難聴、ろう重複の子どもたちの教育支援に関する実践研究を継続するとともに、乳幼児期の家庭訪問支援、幼稚部の自由遊び活動の実践、デフフッドの観点を取り入れた授業実践、自立活動の授業実践(主に日本語教育、障害認識、エンパワメント、当事者研究)、防災教育にも携わってこられました。さらに、全国各地の聴覚支援学校を回ってオンサイト研修型学校コンサルテーションを実施しておられます。著書に『聴覚障害×当事者研究-「困りごと」から、自分や他者とつながる』(金剛出版)、『障害から始まるイノベーション』(北大路書房)、『聞こえなくても大丈夫! 人工内耳も手話も』(ココ出版)などがあり、多数の論文も執筆されています。

【講師から】

大学院博士課程では幼稚園期における手話言語獲得の観察研究に取り組みましたが、ご家族と学校教員がろう重複の子どもとの意思疎通に苦勞されている様子を見て気にかけていました。教員養成大学の教員に赴任してからは学生や学校教員に「教育実践」に関する理論と実践を伝える必要があると考え、ろう重複障害教育の心理学的実践研究にも取り組みました。約20年間の研究を通して見えてきたものは、従来の聴覚障害教育では深く掘り下げられてはいなかったであろう“コミュニケーション”の専門性であり、ろう・難聴の子どもへの教育の専門性を拡張させる可能性も持つものでした。講演では実例をあげながら研究の知見と現場への応用を述べたいと思います。

4. 研究発表

聴覚障害児教育に関する研究を募集します。

口頭による発表で質疑応答を含め20分程度の予定です。発表時間は演題の本数により増減します。

※プログラムの関係上、発表は7名までとします。

(1) 申込み方法

ろう教育科学会ホームページ<https://rokyoiku-hp.normanet.ne.jp/>の「研究発表申込み」から申込みをしてください。その際、500字程度の要旨が必要です。

※お申込み後、折り返し確認の連絡をします。

※2日を過ぎても連絡がない場合には、お手数ですがメールでご連絡ください。

(2) ご注意

- ・研究発表者は、連名発表者も含め、ろう教育科学会会員であることが必要です。
- ・非会員の方が発表を希望される場合には、大会前に入会手続きをお願いいたします。

(3) 研究発表受付期間:2024年5月11日(土)~7月6日(土)23時59分まで

- ・受付期間後は、申込みフォームを閉鎖します。
- ・締め切り後、要旨に基づく選考を行い発表の可否を通知します。

(4) 資料集原稿

大会資料集に発表要旨を掲載しますので、以下の通り原稿を作成し提出してください。

- ・ページ数:A4版2ページ

※なお、資料集原稿は機関誌『ろう教育科学』にも掲載します。大会終了後、発表者には資料集原稿を機関誌用B5版に転載するための編集作業を依頼します。

※必ず、ろう教育科学会ホームページから「大会資料集テンプレート」をダウンロードして作成してください(Word形式)。

※提出方法: rokyoiku.p@gmail.com までメール添付でお送りください。

※提出期限: 2024年7月21日(日)23時59分まで

※期日を過ぎた場合、題名・名前・所属のみ記載し、白紙原稿で掲載します。

※当日、配付資料がある場合には100部ご用意下さい。会場での印刷はできませんので、ご了承ください。

5. 参加申込み方法

※事前申込期間:4月22日(月)~8月17日(土)

ろう教育科学会ホームページ <https://rokyoiku-hp.normanet.ne.jp/> より申込みフォームに進み、申込みをすることができます(「ろう教育科学会」で検索可能です)。

※右のQRコードからも参加申込みのサイトを取得することができます。

※フォームからの申込みの場合には、お申込みに入力いただいたメールアドレスにお申込み受付の自動返信が送られます。自動返信が届かない場合には、お申込みいただいたアドレスが間違っている可能性があります。その場合には、再度お申込みいただくか、問い合わせ先アドレスにご連絡ください。



※懇親会の当日申込は、原則できません。

※懇親会のキャンセルは原則できません。

〈重要〉

- ・大会資料集は各自ろう教育科学会ホームページからダウンロードして当日ご持参ください。
- ・大会資料集のダウンロード方法については大会参加者に別途ご連絡させていただきます。
- ・原則として大会当日会場での資料の配布は行いません。ご了承ください。
- ・会場ではWi-Fiの使用ができません。必ず事前にダウンロードしておいてください。

6. 参加費等について

(1) 大会参加費

	会員	非会員	学生
8月17日までの申込	4,000円	4,500円	1,500円
8月18日以降の申込	4,500円	5,000円	2,000円

(2) 懇親会参加費 5,000円(懇親会の参加申込の締め切りは、7月末日とさせていただきます。必ず大会参加費と一緒に振込みください。)

※大会参加費の振込みが確認できた段階で大会参加申込み確定となります。当日会場で大会参加費を支払われる場合は、8月18日以降の申し込みの大会参加費になります。大会参加費の振込みが確認できましたらメールで参加確定のご連絡をさせていただきます。

※振込時には必ず申込者の名前を入力してください。

※一度振り込まれた参加費、懇親会参加費は原則返金できません。

(3) 振り込み方法

【振り込み用紙使用の場合】

口座番号:00920-0-13366

加入者名:ろう教育科学会 編集部(ロウキョウイクカガクカイ ヘンシュウブ)

銀行名:ゆうちょ銀行

【ゆうちょ銀行以外の銀行口座からの振り込みの場合】

銀行名:ゆうちょ銀行

金融機関コード:9900 店番:099

預金種目:当座 店名:〇九九 店(ゼロキウキウ店)

口座番号:0013366

※入会を希望される方は、ろう教育科学会ホームページ <https://rokyoiku-hp.normanet.ne.jp/> からお申込みください。入会手続き中であれば会員としてお申込みいただけます。

※振込手数料は、申込みの方のご負担となりますのでご了承ください。

7. 情報保障について

本大会における情報保障は、手話通訳のみとなっています。ご了承ください。

8. 問い合わせ

大会に関するお問い合わせは、すべてメールでお願いします。お問い合わせに対して2、3日中にご返信する予定ですが、1週間を過ぎても返信がない場合には再度ご連絡くださいますようお願いいたします。なお、大会の詳細(研究発表者等)は後日学会ホームページにて掲載いたしますので、そちらをご確認くださいようお願いいたします。また、大会の開催を急遽変更または中止する場合は本学会ホームページにてお知らせいたします。

ろう教育科学会 副理事長 小林知史 宛

問い合わせ先アドレス: roukyoikukagakukaitaikai@gmail.com